

## 令和2年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会議事録

令和2年3月28日(土)13時00分より、東京都港区港南4-5-7、国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス講義棟大講義室において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	2,644名
総社員の議決権の数	2,644個
出席社員数(委任状による者を含む。)	1,539名
この議決権の総数	1,539個

(上記の会場での出席)

出席代表理事	佐藤秀一
出席理事	岡崎恵美子、金子豊二、黒倉 壽、東海 正、 中田英昭、舞田正志、吉崎悟朗
出席監事	杉田治男、所 英樹

(Web会議システムによる出席)

出席理事	家戸敬太郎、小梶 聡、越塩俊介、 高野みゆき(旧姓:馬久地)、田中教幸、萩原篤志、 日向野純也、横山芳博、安井 肇、良永知義
出席監事	北田修一

以上のとおり出席があったので、定款の規定により、議長として、濱崎活幸氏が推薦され、承認された。濱崎活幸氏は、議長席につき、本総会はWeb会議システムを使用することを説明した。続いて適法に成立したので開会する旨を宣言した。佐藤秀一会長、金子豊二令和2年度春季大会委員長の挨拶の後、議事に入った。

- 第1号議案 令和元年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件  
議長は、令和元年度(自平成31年3月1日至令和2年2月29日)における事業状況の説明を総務担当理事に求め、吉崎悟朗は事業報告により詳細に説明報告した。  
続いて議長は、令和元年度における貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録についての説明を財務担当理事に求め、東海 正が附属書類により詳細に説明し、その承認を求めたところ、出席者の過半数の賛成により、これを承認可決した。
- 第2号議案 会員に関する規則の一部改正の件

議長は、会員に関する規則の一部改正について、総務担当理事に説明を求め、吉崎悟朗は定款、会員に関する規則にもとづいて詳細に説明し、その承認を求めたところ、出席者の過半数の賛成により、これを承認可決した。

### 第3号議案 令和2・3年度役員（理事及び監事）選任の件

議長は、定款第24条の規定により本総会終結時をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、総務担当理事に理事及び監事選任について説明を求め、吉崎悟朗は定款、役員候補者選出規程並びに総会における役員の選出手続きに関する申し合わせにもとづいて詳細に説明した。その後、理事及び監事選任手続きに入り、1名ずつ理事及び監事選任の審議が行われ、出席者の過半数の賛成により、下記のとおり可決確定した。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る理事候補者

金子豊二、吉崎悟朗、潮 秀樹、八木信行、廣野育生、山下 洋、中田 薫、横山芳博、佐野元彦、越塩俊介が選任された。都木靖彰は上記10名の補欠の理事として選出された。

役員候補者選出規程第2条第2項に係る理事候補者のうち、北海道支部担当 木村暢夫が選任された。宮下和士は補欠の理事として選出された。

東北支部担当 落合芳博が選任された。平井俊朗は補欠の理事として選出された。

関東支部担当 小島隆人が選任された。河村知彦は補欠の理事として選出された。

中部支部担当 平塚聖一が選任された。秋山信彦は補欠の理事として選出された。

近畿支部担当 澤山茂樹が選任された。家戸敬太郎は補欠の理事として選出された。

中国・四国支部担当 野田幹雄が選任された。山本民次は補欠の理事として選出された。

九州支部担当 大嶋雄治が選任された。武田重信は補欠の理事として選出された。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る監事候補者のうち、杉田治男、舞田正志が選任された。青木一郎は補欠の監事として選出された。

役員候補者選出規程第2条第6項に係る監事候補者のうち、野澤知世が選任された。

報告事項 別添資料に基づき、次のとおり報告があった。

- (1) 総務担当理事吉崎悟朗が令和2年度事業計画について報告した。
- (2) 財務担当理事東海 正が令和2年度正味財産増減予算書及び正味財産増減予算書内訳表について報告した。

議長は議事録作成者として出席理事の中から佐藤秀一を指名した後、以上をもって Web 会議システムを用いた本総会は終始異状なく議案の審議等を終了した旨を述べ、14時04分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録作成者がこれに署名または記名押印する。

令和2年3月28日

令和2年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会

議 長

印

議事録作成者

代表理事（会長）

印